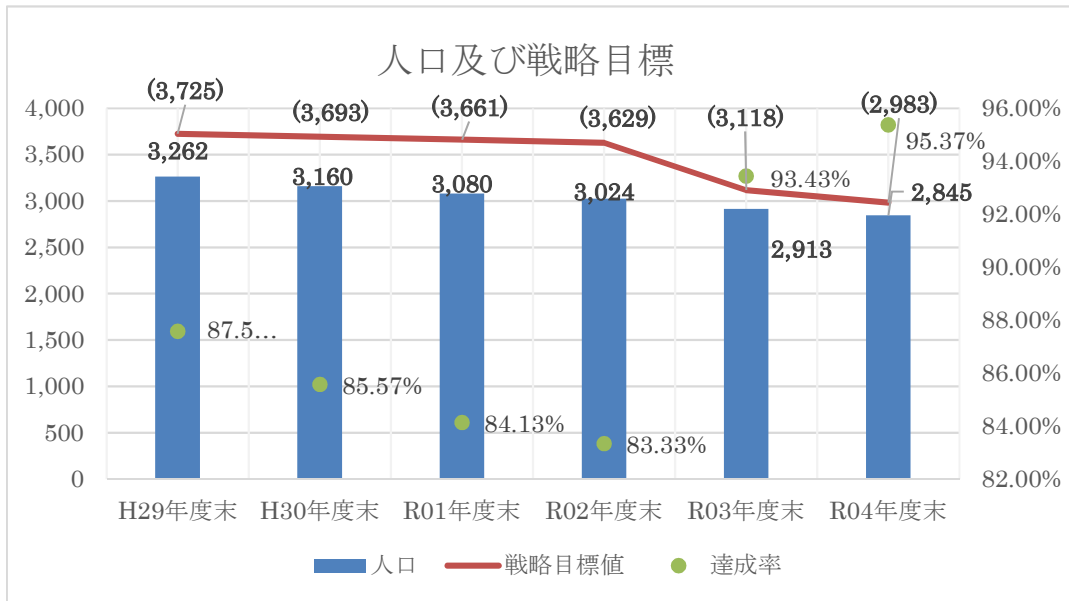
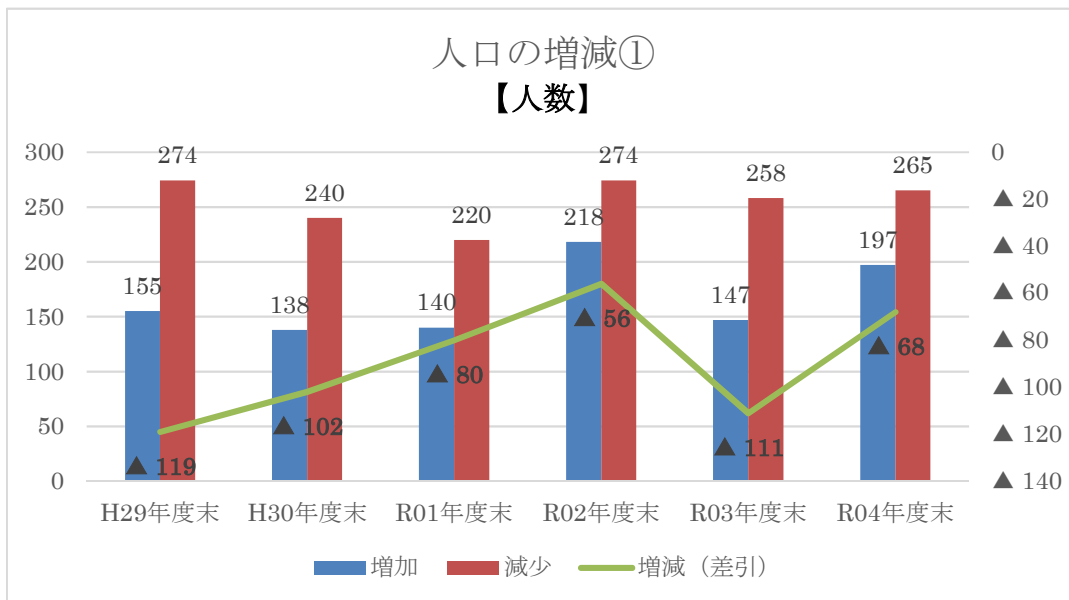


本町の人口の推移について



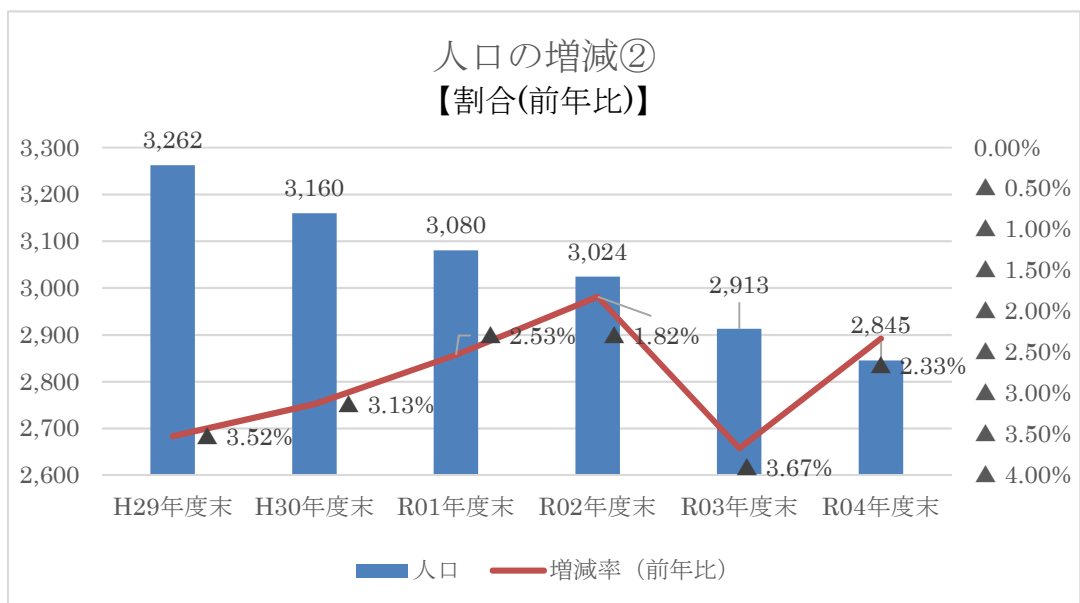
【出典：住民基本台帳】

- 令和2年度を始期とした第2期戦略の策定と合わせて人口ビジョンも改定し、新たな戦略目標値としたが、達成率は約98%と計画値を下回る状況となっている。
- 令和4年度末人口は、刑務所被収容者を除く人口は**2,771人**となり、実質の達成率は**92.9%**である。人口減少が緩やかに進んでいる状況となっている。



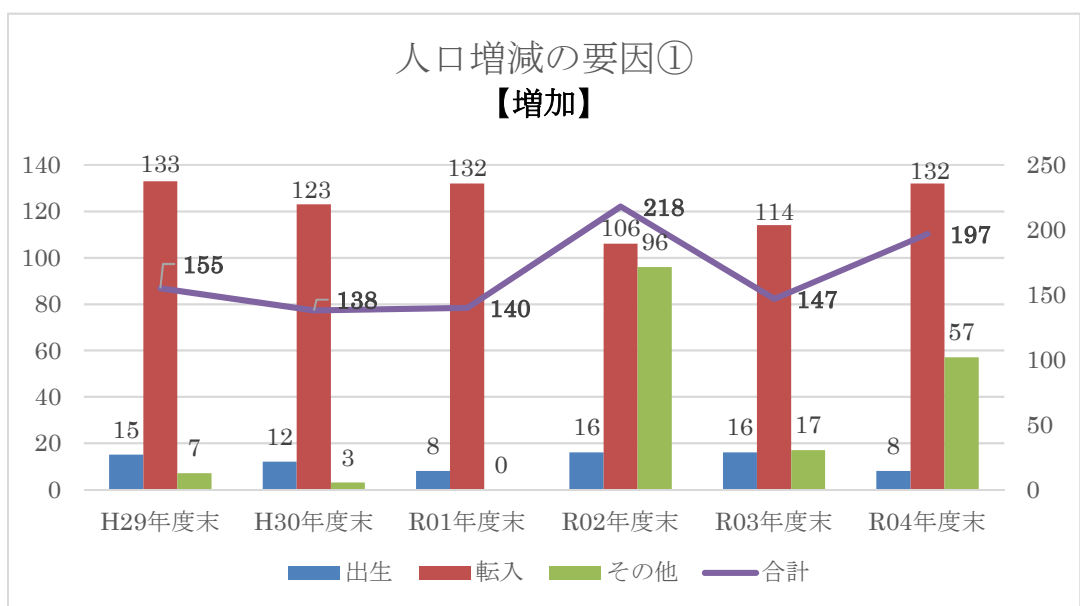
【出典：住民基本台帳】

- 出生と転入等を合わせた「増加」を死亡と転出を合わせた「減少」が恒常的に上回っている。
- 「増加」197人には、前述のとおり刑務所被収容者が含まれており、刑務所被収容者を除く実質の「増加」は**140人**となり、R3(131人)と比較して増加となった。同様に刑務所被収容者を除く実質の「減少」は**234人**となり、R3(221人)と比較して増加している。



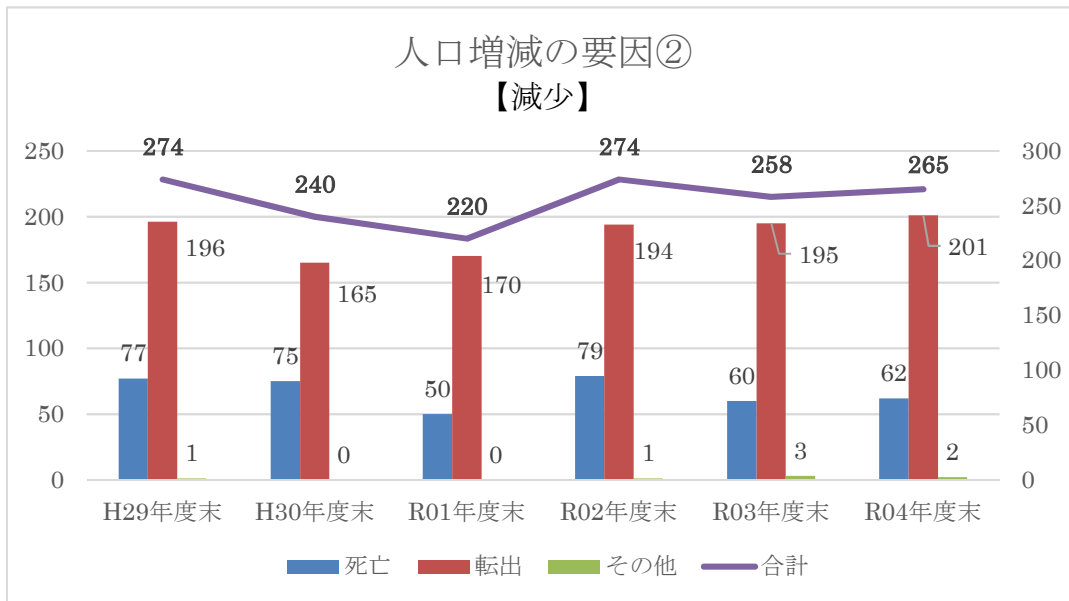
【出典：住民基本台帳】

- ・ 刑務所被収容者を除く人口は 2,771 人で、実質の「増減率 (前年比)」は▲3.25%となり、過去5か年平均の増減率 (▲2.83%) と比較して、例年よりも減少率が上昇している状況となっている。



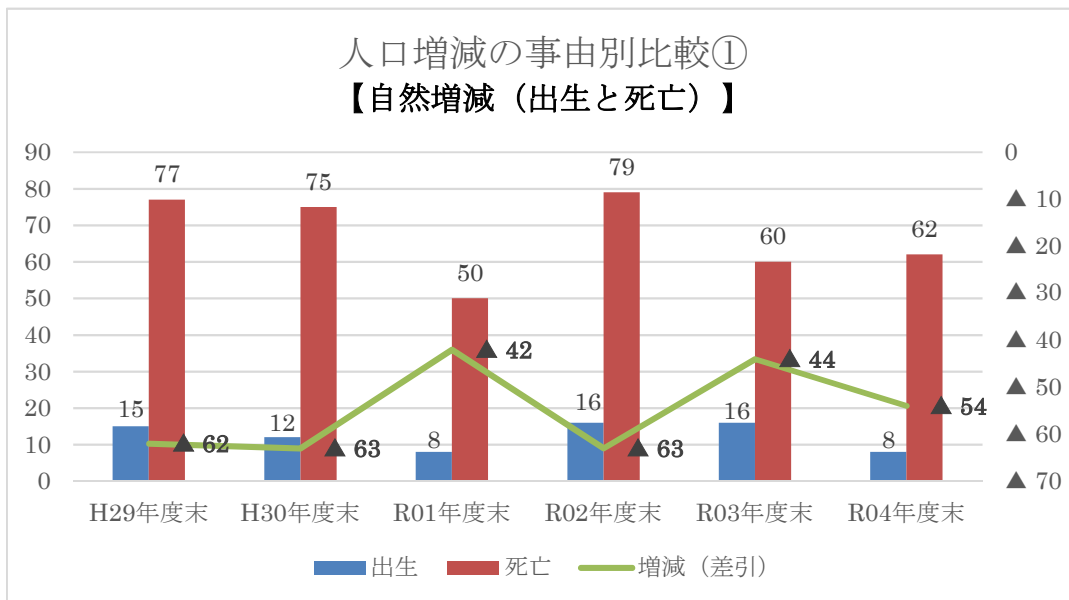
【出典：住民基本台帳】

- ・ 「その他」は、刑務所被収容者の住民登録による増加となっている。
- ・ 「出生」は R2・3 と 15 人を超えていたが、R4 は 10 人を下回った。
- ・ 「転入」は 132 人と昨年度よりも上昇している。町内の福祉施設の寮の整備や外国人就労者が増の要因となっている。



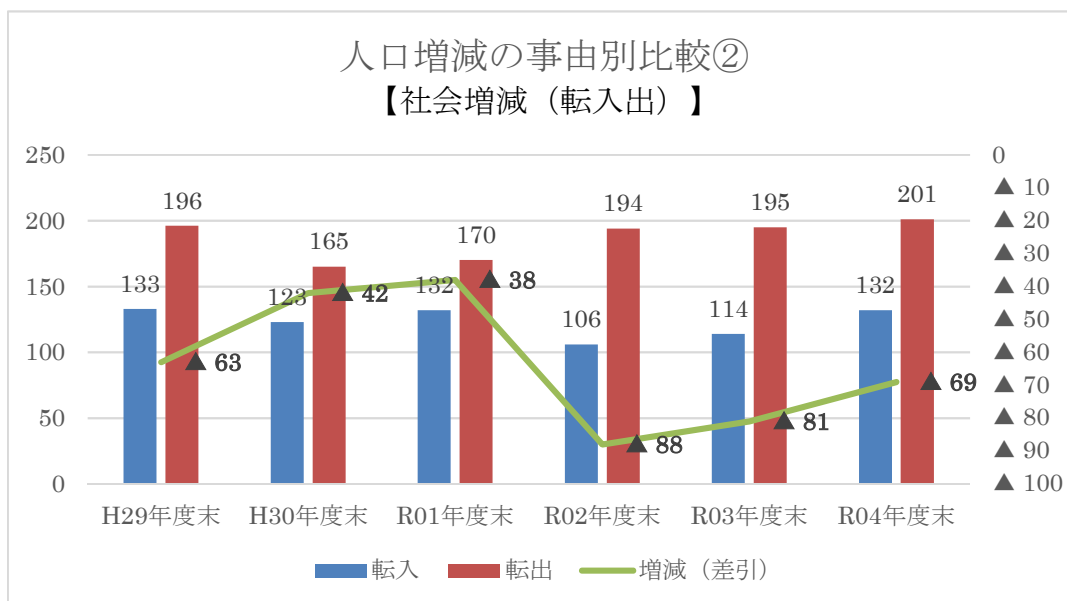
【出典：住民基本台帳】

- 刑務所被収容者を除く転出は 170人 と増加傾向にあり、自然減は横ばいの傾向となった。人口規模が縮小している中であって、減少率は増加している。



【出典：住民基本台帳】

- 出生数が昨年と比べ半数となり高齢化率の上昇に伴う死亡数は横ばいとなった。人口減少に伴う自然増減は減少傾向が続いている。



【出典：住民基本台帳】

- ・ 転入と刑務所被収容者を除く転入 132 人と転出 170 人の「増減」は△38 人で社会減は継続している。

人口規模が縮小している中であっても、減少率は増加している。

【総括】

- ・ 全体の傾向としては、自然減及び転出は横ばいのまま高止まりしており、生産年齢人口（25～49 歳）の人口における転出は依然増加している。
人口減少の中でありながら、町内の福祉施設の寮の完成や外国人労働者の転入により令和 3 年度と比較して転入数は増加となった。
- ・ コロナ禍にありながら、縮小していた事業の回復などによる雇用情勢の変化があり、町内の経済状況を注視することも必要と考える。